

中富地区社協だより



発行：中川富岡地区社会福祉協議会 発行責任者：会長 柳井洋 編集責任者：広報部会長 山口修 連絡先(0438)63-3888

平成25年度・中川富岡地区社協の事業活動を振り返って

中川富岡地区社会福祉協議会

会長 柳井洋



中川富岡地区の皆様には、日頃「中川富岡地区社会福祉協議会(以下「中富地区社協」)の活動にご理解、ご協力及びご支援を賜り心より感謝申し上げます。中富地区社協は、「市民みんなが支えあい、一人一人が安心して健やかに暮らせるまち」を基本に、主として高齢者の「コミュニケーションづくり」の推進を目指して地域の皆様と一緒に活動を行っています。

〈平成25年度の事業活動を振り返って〉

○ 地区社協活動の中では大きなイベントである9月の「敬老会」が大型台風の影響で直前に急ぎよ中止となり、楽しみにされていた方々や事業推進委員全員による早くからの準備を考えますと大変残念なことでした。次年度も皆様のご期待に添えるような内容を目指してまいります。

○ 70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象とする月一回の「給食サービス」と6月の「お花見昼食会」は、当初の予定どおり実施できました。また、給食部会が作成する「タンポポ通信」は各種案内や時季伺いなどを給食に添えることができました。

○ 11月に開催しました70歳以上の全高齢者を対象とした「ふれあい交流会」には前年度より多数の総勢25名のご参加いただき、見て食べて楽しいものとなりました。

○ 主としてシニアの皆様を対象として10月に開催しました「中富いきいき料理教室」は、

袖ヶ浦市シニアクラブの運動会と日程が重なったため、前年に比べ男性の参加者が少なくなりました。次年度の課題と考えております。

○ 「広報紙」は、当初の計画どおり年4回発行することができました。この広報紙を通じて中富地区社協の活動や様々な情報の提供を目指して、より一層の内容の充実を図ってまいります。

以上、主たる活動を振り返りましたが、実施にあたり皆様の温かいご理解、ご協力及びご支援をいただき誠にありがとうございます。平成26年度も中富地区社協の全事業推進委員が一層の努力をいたしますので皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ふれあい交流会の開催!

中富地区に住む70歳以上の高齢者による「ふれあい交流会」が去る11月13日(水)に総勢25名の参加で行われた。今回は、佐原と香取神宮を訪ねる日帰りバス旅行、当日は天候にも恵まれて下総方面へ向かうバスの中はとても賑やかで和気あいあいの雰囲気だった。国内屈指の名社で格式高い下総唯一の香取神宮の境内では見事に咲いた菊花展を鑑賞し、老杉、桜や力エデの



木々と典雅な社殿との調和を実感しながら散策をした。楽しみにしていた昼食では蕎麦と鰻のセットの美味に満足でした。その後、「水の郷さわら」で楽しいショッピングをし、たくさんのお土産とともに帰参してふれあい交流会の一日が終わった。参加者から「久しぶりのバスの旅、菊の花を觀賞し、美味しいものを食べて楽しかった。参加させてもらって有難うございました」との感想が寄せられた。



民生委員・児童委員の改選

袖ヶ浦市の民生委員・児童委員が去る12月1日付けで改選されました。任期は3年となり、担当する地区での社会福祉活動を行います。さらにこの方々には、中富地区社会福祉協議会の制度ボランティアの代表として「事業推進委員」を委嘱し、中富地区社協の事業活動を推進して頂くこととなります。今後は地域の皆様にもご支援をよろしく願います。

中富地区民生委員・児童委員

担当地区	委員名
百目木	高橋 久恵
小路第1・小路団地	中山 博明
小路第2	太田 茂雄
上宿・中川団地	鈴木 順一
中下・山中・大鳥居	稲村 利実
吉野田・岩井作・滝の口・玉野・滝の口ファミリータウン	鈴木 治夫
大竹・上宮田・下宮田	川名 好枝
主任児童委員	小林 清子

※ 阿部・堂谷・打越・打越団地及び野添・成蔵・三黒・谷中の担当は選任中

《民生委員・児童委員とは?》

それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める人 (厚生労働省)

事業推進委員研修会の開催



中富地区社協の事業推進委員研修会が去る12月19日(木)に平川公民館視聴覚室において開催された。当日は新任の事業推進委員も参加して総勢34名の出席とな

り、講師として袖ヶ浦市福祉部長の在原昌秀氏を招き、用意されたレシユメにより「地域福祉と地区社協」と題した講義形式による研修が行われた。

全国的に高齢化が進む中で、平成25年4月現在の中川富岡地区の65歳以上の高齢者は一六二四人で高齢化率は27.7%となり、全国平均を上回っていることや認知症の有病率が人口対比15%となり早期発見などその対策が求められていること、さらに地域福祉計画の改訂作業が進められる中で「地区社会福祉協議会」の役割やそのあり方について先進団体の事例を中心に1時間を超えて熱心な講演となった。最後に「中富地区社協で何ができるか、できることから始めよう」と締めくくられた。当日は、中富地区社協で初めての座学となり、また新任の事業推進委員も参加して、参加者は真剣な眼差しで熱心に聴講していた。



中富地区の話題

新春初詣ウォーキング大会



恒例となっている中富ふれすぽクラブのジョギング・ウォーキング部主催の新春初詣ウォーキングが去る1月11日(土)に開催され

た。当日は快晴で風もなく絶好のウォーキング日和の中、参加者の最年少は5歳、最年長は76歳で総勢33名が富岡分館から高倉観音を往復する約14キロのコースで健脚を競った。皆それぞれの服装にリュックを背負って高倉街道を歩き、高倉観音で初詣と記念写真撮影、そしてお弁当を食べた。午後には直売所に寄り、ひたすら歩き全員無事に帰着した。

中富ふれすぽクラブでは毎月第2・4土曜日の9時から富岡分館で中川富岡地域を約2時間(一万歩程度)歩くウォーキングを開催しています。参加は自由で当日に富岡分館へ集合となります。



連絡先 中富ふれすぽクラブのジョギング・ウォーキング部・信田幸夫 080-53888-3581

平成26年袖ヶ浦市成人式挙行

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標で1月12日(日)に恒例の平川地区成人式が平川公民館で開催された。この成人式は委員17名により実行委員会が組織され企画実行されたもので、当日は新成人一十二名(出席率88.2%)が出席し、主催者の出口清市長他12名、来賓の地元選出議員5名と自治連地区会長2名が出席して式典が厳粛に挙行された。記念行事はビデオレター『プリングスバック メモリーズ』を観た後に新成人の主張が行われた。社会人や学生の7名の新成人が登壇をし、両親や恩師及び地域の人々への感謝や将来の夢や目標を発表した。発表は素晴らしい内容で新成人としての初々しさを実感した。



元気な節分豆まきで鬼は逃げる

2月3日(月)は節分。各地の神社では豆まきやどんど焼きが実施された。地元の熊野神社(山中区)でも18時から8人の年



男・年女の手から「鬼は外 福は内」の掛け声に合わせて豆が境内に集まった約70人の氏子達に向かって投げら



れた。節分は立春の前日に「新しい一年が、不幸や災いの無い一年になりますように」との願いを込めて行うもので、老いも若きも豆を拾っていた。その後、持ち寄った正月飾りを燃やすどんど焼きが行われ、火は穢れを浄め、竹の爆ぜる音は災いを退けると言われ、集まった人々は無病息災・家内安全・五穀豊穰などを祈っていた。

幼稚園のハロウィンが開催

中川幼稚園では、去る10月23日(水)にハロウィン秋祭りを実施した。この4年目を迎えたハロウィンパーティ(収穫祭)に、ALT(外人講師)7名と近隣の保育所や小学校の子ども達も加わって、PTA役員が作ったプレセントや手作りの衣装を身に付けて、ゲームをしたり、曲に合わせて踊ったりと今年も大変な盛り上がりを見せた。子どもたちはたくさん大人たちと英会話を楽しみながらキャンディをもらって嬉しそうだった。



編集後記

パソコンによる初めての広報づくりで一年間苦労し、やっと第4号が発行できてほっとしています。次年度はもっと充実をさせていただきます。情報提供を歓迎します。